情報モラル教育実践授業報告書

対象学年	中学校 3年
領域	学級経営
指導項目	コミュニティサイトとの上手なつき合い方

情報モラル指導モデルカリキュラム						
http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html						
指導分野	安全への知恵					
コード	d 4-2	指	導	事	項	・コミュニティサイトの危険性を理解する。・コミュニティサイトに潜む悪意から、自他の身を 守る態度を身に付ける。

授業前の生徒の状況	・携帯電話で撮影した写真を安易に無料通話アプリなどに掲載し、トラブルとなることがある。また、その画像が外部に流出したこともある。
期待される生徒の変容 (ねらい)	・コミュニティサイトを利用する際に、自分や自分の友達を危険にさらさないためにはどうすればよいかを考えることができる。・コミュニティサイトに、個人情報や個人が特定できる画像を掲載することで、さまざまなトラブルに発展する可能性があることを理解する。
生徒の変容を促すための授 業の工夫(ポイント)	 ・導入で実際の無料通話アプリの画面を見せることで、生徒が興味をもって本時の学習に取り組むことができるようにする。 ・ビデオ教材を用いることで、コミュニティサイトをめぐるトラブルをより身近な問題として感じさせる。 ・スライドを用いることで、個人情報の危険性を視覚的に理解させる。 ・トラブルにならないためにどのような使い方をしていくか、また、トラブルにあった時にどのように対処するかを考えさせることで、コミュニティサイトに潜む悪意から自他の身を守る態度を身に付けさせる。
利用するコンテンツ等 (サイトのアドレス) または資料等	 ・警視庁動画ライブラリー「画面の中の分かれ道」(ビデオ教材) http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/anzen/movie/12_cyb/00.htm ・愛知エースネット 情報モラル教育のすすめ 情報モラル教育指導用プレゼン教材「個人情報記載の危険性1」「個人情報記載の危険性2」「個人情報の悪用被害」 http://www.aichi-c.ed.jp/contents/j_moral/materials/presenhome.html

評価 (指導者による授業への評価)

	(11分目による)大木	
生徒について	生徒の興味・関心の度合い	1. 低 2 3 4. 高
	生徒の理解度	1. 低 2 3 4. 高
	生徒の 変容の度合い	1. 低 2 4. 高 田由・感想等 ・生徒の感想には、「軽い気持ちが大きなトラブルにつながることがわかった」や「使い方一つで便利にも危険にもなるから気をつけたい」という記述が見られた。
授業について	事前準備の難易度	1. 難 2 3 4. 易
	指導者にとっての 授業展開の難易度	1. 難 2 4. 易 田由・感想等 ・映像が分かりやすくまとめられているため、授業の方向性が大きくずれてしまうことはない。ただし、時間配分には注意したい。
	授業の「ねらい」の 達成度	1. 低 2 3 4. 高 世中・感想等 ・授業後の感想の中に、生徒自身がこれまでに安易な気持ちで行ってきたことを反省する記述や、今後コミュニティサイトを使用する際に気をつけたいというような具体的な記述があったので、十分に効果的であった。
	指導方法の効果の度合い	1. 低 2 3 4. 高

<実践の感想及び反省点等>

生徒はコミュニティサイトがトラブルにつながることはさまざまな場面で聞いて知っている。ただ、具体的な場面については知らないことが多い。そのため、本時のような具体的なトラブルの場面やそうならないための方法を考える活動は、生徒にとって有効であった。ただし、資料を多く用いることで焦点がぼやけたり、情報機器を用いることで予期せぬトラブルに見舞われたりすることがあるため、十分に授業準備をする必要がある。より精選した資料で、効果的な指導につながるように教材の工夫を進めたい。

実践例

配当	時間	学習の進め方	指導のポイント
導 入	5 分	 コミュニティサイトで、不審なメッセージが届いたら、どうするかを考え、発表する。 クラスのコミュニティサイトの利用状況を確認する。 	・実際の無料通話アプリの画面を見せることで生徒にとって身近な問題であることを感じさせる。 ・事前に調査した生徒のコミュニティサイト利用状況アンケート結果と、他の調査結果の実態を比較させる。
展 開 1	25 分	3 本時の課題を把握する。 4 ビデオ教材を見て、問題点をグループで話し合い、発表する。 被害に遭うか遭わないかの分かれ道 さきの場合 ・コミュニティサイト に登録したとき。 ・知らない相手とメー ルアドレスを交換し れ登録したとき。	・ビデオの内容を振り返ることができるようにするために、「さきの行動」と「おじいちゃんの行動」を黒板にチャートで示す。
展 開 2	10 分	 たとき。 自分の画像を送ったとき。 か加工した画像で脅され、会いに行ったとき。 スライドを見て、コミュニティサイトに個人情報を掲載することの危険性を理解する。 (1)個人情報悪用の被害・他者に画像を無断で使用される (2)個人情報記載の危険性1・ネットストーカーに狙われる 	・要点をまとめて発表することができるようにするために、発表の制限時間を設定する。 ・ビデオ教材の中のトラブルとして、生徒に最も身近な問題である個人情報の流出について、スライドを用いて詳しく解説する。
		(3) 個人情報記載の危険性 2 ・誤解,反感をまねく恐れがある	

		6 コミュニティサイトの利用に際し、どのよう な態度が大切かを考える。					
		コミュニティサイトを利用するときに、どのようなことに注意すればよいだろう。					
まとめ	10 分	 ・知らない相手を信用しない。 ・他の人の画像を無断で掲載しない。 ・他の人の悪口や個人情報,読み手を挑発するような文を書かない。 ・他のサイトに誘導されても拒否する。 ・トラブルに遭ったらすぐ大人に相談する。 	・考えをまとめて発表することができる ようにするために、個人でワークシー トに記入する時間を十分にとる。				
		7 本時の感想を書く。	・トラブルを未然に防ぐ方法だけでな く,トラブルに遭ったときにどうすれ ばよいかも考えるように補足する。				